

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	国際連合児童基金 (UNICEF) 拠出金 (任意拠出金)		担当部署	国際協力局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和27年度開始		担当課室	緊急・人道支援課	課長 青木 豊			
会計区分	一般会計		施策名	VII-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、通知等	第1回国際連合総会決議57/1(1946年12月11日)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	子どものために活動する唯一の国連の人道機関として、全ての子どもの権利実現のために、ミレニアム開発目標達成のための活動を中核とした広範囲な支援を展開する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	開発途上国の子どもに対して、ユニセフを通じて「子どもの生存と発達」、「基礎教育とジェンダーの平等」、「子どもの保護」、「子どもの権利のためのアドボカシーとパートナーシップ」、「HIV/エイズと子ども」の分野において、①中長期的援助、及び②自然災害や武力紛争の際の緊急援助等を実施。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	1,633	1,474	2,172	1,937	1,818	
		補正予算	8,522	10,255	10,440	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	10,155	11,730	12,612	1,937		
		執行額	10,155	11,730	12,612			
	執行率 (%)	100	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	ミレニアム開発目標の達成を中心とした子どもの権利の実現 (救われた5歳未満児童数) (注)機関全体の目標及び実績		成果実績	百万人	569	563	集計中	
			達成度	%	100	100	集計中	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	①ビタミンA支援を受けた児童数 ②マラリア対策蚊帳の供与を受けた世帯数 ③安全な水へのアクセスを得た世帯数 ④出生登録を受けた児童数 (注)機関全体の指標及び実績		活動実績 (当初見込み)	①人 ②世帯 ③世帯 ④人	n/a	①293,031,601 ②42,043,846 ③2,383,954 ④12,943,937	集計中	()
	単位当たりコスト		算出根拠	①5,600円(長期残効型防虫蚊帳10張) ②12,000円(家庭用水セット10家族分)				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	国際連合児童基金 (UNICEF) 拠出金	1,937	1,818					
	計	1,937	1,818					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	ユニセフは、保健、教育、水と衛生等の分野において、開発途上国の子どもを支援する活動を行っており、人間の安全保障の実現及びミレニアム開発目標の達成に貢献していることから、国として支援する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	ユニセフは、コスト削減努力の一環として、旅費及び組織予算の削減を通じて大規模な予算の見直しを行い、事業費を削ることなく効率を上げることに成功。また、事務所の統廃合、人員削減、民間資金調達等合理化のための対策が講じられている。他方、費目・使途に関する予算書上の説明は大まかである点が課題。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	△	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	ユニセフは、成果に基づくマネジメントを実施しており、常に成果目標を立てて、着実な事業の実施に努めている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	執行理事会等の場を通じて、引き続き効率的な事業の実施を求めていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		拠出額減額	
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減		任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減	
	補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)		
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	86	平成23年行政事業レビュー	83